

競技注意事項

1 本大会は2026年度(一財)愛知陸上競技協会「小学生友の会ルール」で行う。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

3 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンはあける。

4 招集について

- (1) 招集所は、競技場内100mスタート後方倉庫前に設ける。
- (2) 招集の受付は本人(代理人は認めない)が行い、時間に遅れた者は出場を認めない。招集指導は引率者の引率で行う。リレーは4人が揃って招集を受ける。
- (3) 招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (4) コンバインド種目の2種目は招集を行わない。
- (5) リレーオーダー用紙は、招集完了時間1時間前までに招集所へ提出する。オーダー用紙は招集所で受け取る、または愛知陸協HPの小学生友の会ページでダウンロードする。
- (6) 選手の誘導は各団体の引率者が行う。

5 ウォーミングアップについて

- (1) できる限り集団でのアップはせず、事故等の起こらない様に引率者が付き添って行う。
- (2) 競技場内について
 - ・競技開始前については、8時30分以降(練習開始アナウンス後)～9時15分まで利用できる。ハードル練習は準備されたものを役員の指示により行う。ハードル練習には必ず引率者が付き添い行う。
 - ・競技開始後は、競技に支障がない範囲で行ってよいが、逆走は禁止とする。また、競技中の選手に助言となる様な行為、応援、撮影は禁止する。
 - ・トラック種目競技中は、バックストレートのみ可能とする。
- (3) 競技場外について
 - ・必ず、芝生広場を利用し、公園内通路では行わない。公園利用者の迷惑とならない様に注意して行う。芝生広場への移動はゴール側大門を利用する。

6 競技について(友の会ルール)

- (1) スターターの合図は英語「On your marks」「Set」(1500mは「On your marks」で行い、不正スタートは、一人が2回で失格とする。スタートの方法は、400m以下の種目についてはクラウチングスタートとする。(スターティングブロックは使用しなくてもよい。)3年生以下50mは、スタンディングスタートとする。(スターティングブロックは使用しない。)
- (2) 混合リレーのオーダーは、男女各2名で編成し、走順は自由とする。

(3) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
5・6年生	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年生	9台	0.60m	13m	7m	11m

- (4) フィールド種目の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (5) ジャベリックボール投げは、既定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人2回とし、すべて計測する。
- (6) 走幅跳の試技は1人2回とし、すべて計測する。
- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。2回連続失敗した時点で終了とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

学年	練習	1	2	3	4	5	
4年生	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	以後5cm
5.6年生	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後5cm

- (8) 本大会において、日清食品カップ愛知県小学生陸上競技交流大会(6月28日)の参加資格記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協ホームページを参照し、参加申し込みをすること。尚、日清食品カップ県大会種目は日本陸連の登録が必要となり、団体名称は日本陸連登録名(個人登録は「愛知陸協」となる。

7 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル)は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) ジャベボール(ニシスポーツ NT5201)は出場者一人につき1個持参し使用する。他競技者と共用しない。ただし、3年生以下ミニジャベボール(ニシスポーツ NT5202)は大会側が用意するが、持ち込みも可とする。
- (3) リレー・走幅跳の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは2個まで使用できる。

8 団体受付について

- (1) 団体受付は、本部室に設ける。但し、早朝のみ正面玄関ロビーで団体受付を行う。
- (2) 大会中の落とし物は団体受付で対応する。

9 競技場内及びスタンド入退場・待機について

- (1) 選手、引率者、保護者がスタンドに入場出来る。(競技場内は選手と指導者のみ)
- (2) スタンドのチーム場所は、全団体が入れるように配慮する。
- (3) スタンドでは必ず座って観戦する。特に通路や最前列の柵に立っての応援・撮影は禁止。
- (4) スタンド出入口は、メインスタンド入口(2か所)を利用する。

10 写真及びビデオ撮影について

- (1) 撮影に使用できる機器はスマートフォンまたはタブレットのみとする。デジタルビデオ、ビデオカメラ、一眼レフカメラ等での撮影を禁止する。
- (2) 本人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。

11 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン（曲走路）を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン（チーム）の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が団体受付時に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。盗難に注意すること。
- (6) 各団体の待機場所で子供達が遊び回ったり騒ぐことのない様に指導する。
- (7) ゴミは必ず持ち帰ること。競技場に設置してあるゴミ箱は封鎖する。

